

# 新體制下の幼稚園

まへかき

## 倉橋惣三

○  
先づ新體制下の幼稚園は、保姆諸君が新體制を實踐するところから始まる。新體制を上から受けても、世の中が新體制になつても、又、自ら新體制の理解がくわしく、認識が明かであつても、實踐によるこゝなしに、幼児に新體制の幼稚園を正しく與へることは得られない。

○  
次に、新體制は舊體制に對する言葉であるが、たゞ舊體制を變るだけの意味ではない。況して、舊體制のもつてゐたものを奪ふだけではない。即ち、變つたノ、減縮々々

○  
この意識するだけが新體制の本義ではない、新は眞であり、眞は不眞を排除はするが、排除だけでなく、眞を發揮し、眞を充實させることを眞である。假りにも、消極的意識に止まるものであつてはならない。物資も節約する。生活も自肅する。しかし、それは決して消極的なだけの生き方ではないのである。新體制はその生活意識に於て、そこまでも積極的である。編輯部からのお願ひによつて、幼稚園保育各方面に就て寄せて下さつた御意見は、まだ拜見してゐない。従つてさういふ過去、また、さういふ現状に對して警告せられてゐるかを知らないが、警告としての言葉づかひがざんなであらうとも、新體制を迎へて、新體制に生きようとする心のものが、あなたにも大に積極的なものであることを疑はない。また、そこを汲みこつて讀まなければ讀み誤りである。

ならぬやう、私の懸念から念のため一言致して置きます。

さて、新體制は眞體制であるといつた。たゞ、こゝに明瞭でなければならぬことは、その眞は「今」に即する眞生活でなければならないことである。「今」をみつめて誤らざる

真でなければならぬことである。教育は徹頭徹尾國のためである。國の「今」に即する教育のみが、眞の教育である。

「今」は、さういふ教育をし、さういふことを目として教育しなければならないのか。新體制下の教育は、その「今」の眞に即する教育である。幼兒教育亦然り、幼稚園の經營亦然りである。



尙、申添へて置きたいことは、諸氏の寄稿は編輯部から提出問題に對して與へられたもので、新體制下の幼稚園といふ全面的問題に對して全面的に答へられたものでないこゝである。若し、さういふ出題をしたら、各氏の選ばれる問題は別の點を先きにせられたかも知れない。又必ずや、こゝで言はれてゐること以外に廣くも深くも説き及ぼされることがあつたに相違ない。即ち、新體制下幼稚園といふ廣い問題に對して、こゝで言はれてゐる點だけに言を限られたことは、諸氏の責任ではない。勝手な方面をそれふゝに割り當てた編輯部の責任である。この點、少しでも諸氏の御迷惑に

## 保健方面の使命について

醫學博士 廣瀬興

新體制下に於ては、家庭生活全般に亘つて自由主義的個人主義的考へ方を廢し、一層高度の國家社會主義的全體主義的考へ方が要求せらるゝであらう。従つて、家庭生活に關聯を持つ幼稚園に於ても當然この線に沿ふ保育が實施せられねばならない。尤も、幼稚園其他保育施設は在來的一般生活形態から云へば既にこの考へ方を多分に抱含して居つたのであるが新體制下に於てはこの點、今、一層、精神的にも組織的にも強調の必要を認めるのである。

保健的方面からは一個人の幸福といふ觀點より以上に全國民の健康増進、體位の向上を圖り、將來の民族素質の優勢を望むならば青少年期或は成人期の対策は既に手遅れであつて、如何しても、乳幼兒期の対策が絶対的に必要である。體質の強弱、素質云々が人間一生の健康生活に極めて重大なる關係にあることは今更、贅言を要しないのであつて、極端に云へば、乳幼兒期に正しい保健的生活を過